業務棚卸表（事後評価表）

A表

年度	平成19年度

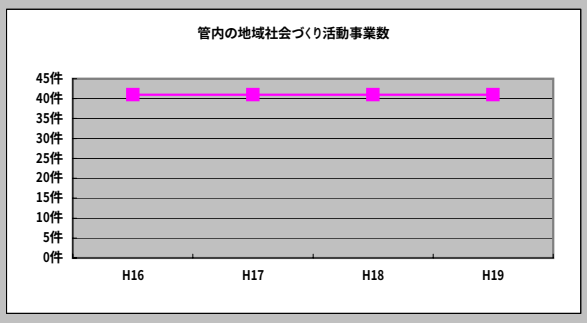
基本目的　3	人権が尊重され、市民が主体となって取り組む協働社会になる
基本目的　8	市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる
基本目的　9	行政機能が高くなる
行動目標3－2	市民主体でまちづくりが行われる
行動目標8－2	市民が生涯を通じて学習、スポーツ活動に取り組める　（所属名　川島地区市民センター）
行動目標9－2	公正で効率的な行政運営を行う

任務目的	地域における市行政の窓口として、市民の利便性を高めるとともに、市民による地域活動を促進する。	達成度	☆☆☆

任務目的の成果・活動指標の推移

管内の地域社会づくり活動事業数

H16実績	41件
H17実績	41件
H18実績	41件
H19実績	41件
H19目標	42件



窓口対応の満足度

H16実績	100.0%
H17実績	100.0%
H18実績	100.0%
H19実績	100.0%
H19目標	100.0%

講座開催数

H16実績	317回
H17実績	317回
H18実績	310回
H19実績	330回
H19目標	330回

指標の説明

地区市民センターの主要な業務である、地域社会づくり、窓口・相談、公民館における生涯学習講座の開催について、わかりやすい、代表的な指標として、管内の地域社会づくり活動事業数、窓口対応の満足度、講座開催数を掲げた。

○　任務目的に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成１９年度実績

○地域マネージャーの知識、経験を有効に活用するとともに、住民への的確な情報の提供を行い、地域課題の把握に努めるとともに、官民役割を明確にし、地域諸団体のより一層の自立化を目指して、住民と行政が連携を図り、地域にあったまちづくりの推進に努めた。
○窓口対応については、地域における行政のより身近な総合的な窓口として、限られた職員のなかで正確で、丁寧な対応を全員で心掛け、地域住民に親しまれる窓口対応に努めた。

平成２０年度見通し

○地域の総合的な窓口として、正確、公平、迅速に対応し、地域諸団体のより一層の自立化と地域諸課題に取り組み、親しまれる地域の拠点とする

これからの課題、施策等展開の方向性

○地域の各種団体と連携を図りながら、地域マネージャーを有効に活用し、役割分担を明確にしながら住民主体の地域社会づくりを推進する。
○地域の窓口の拠点として、住民の要望等の把握するとともに、正確で、親切丁寧な対応に努める